

きび羊羹本家

×

藤塚 美智子

店主

岐阜市生まれ。結婚を機に養老町へ移り住んで以来、養老駅に降り立った観光客をお迎えしている。養老駅から養老公園、養老の滝へ向かう観光客に、養老の歴史や良いところを紹介するのが生きがい。大正2年に建築された養老駅は風情があり、洋を取り入れたデザインは毎日見ている飽きないと話す。



100年前から養老駅の目の前で。



Q、養老駅の目の前ですね！

そうなんです。大正2年に養老駅ができた時から、この場所で観光客の皆さんをお迎えしています。名物の吉備羊羹（きびようかん）や養老豆、養老餡をはじめ、お土産品を取り扱っています。

Q、大正2年！ これまでたくさんの人をお迎えされたんですね。

養老駅ができる前、このあたりは岩や石が多い地層でした。そのためお米が作れなくて、黍（きび）や粟（あわ）しかできなかったそうです。養老駅ができたことにより、それらを使ったお菓子、吉備羊羹が皆さんに広がり、愛されるようになりました。

創業時は穂谷（大垣市）の支店でしたが、昭和5年に開催されたお菓子の博覧会で、当店が金賞を受賞したことをきっかけに、現在の「きび羊羹本家」として刷新されました。百年前から作り続けている吉備羊羹ですが、今でもこれを目的にされるお客様もいらつしゃって、大変うれしく思います。



FSP(フレンドシップパートナー)って？

養老町公式ファンクラブである『YORO SUPPORTER WORLD』に入会した会員と一緒に養老町を盛り上げていくお店や企業です。FSP登録店舗で会員証を提示するとお得にお買物や飲食が楽しめます。YSW公式HPにて登録店舗を紹介しています。
<https://www.town.yoro.gifu.jp/docs/2022031700023/>

Q、吉備羊羹おいしそう！

黍のプチプチとした舌触りと、もちもちとした食感が特徴です。天然素材を使っているため、毎日少しずつ違うんです。手づくりならではの食感を楽しんでください。

最近では、若い方を中心に養老餡が人気です。餡と言ってもゼリーに近いのですが、「冷凍して食べるとシャリシャリした食感になっておいしいです！」と、お客様から教えていただきました（笑）

Q、長い歴史の中で、大変だったことはありましたか？

やはり、新型コロナですね。当店は先の大戦を経験していますが、戦時中、なかなか砂糖が手に入らなかった中でも、なんとか営業を続けていきました。コロナの拡大で非常事態宣言が発令され、3か月も営業できなくなり、「まさか」という思いでした。大変な期間でしたが、なんとかまたこうして観光客の皆さんとお話ができるようになってよかったです。

きび羊羹本家

住 岐阜県養老郡養老町鷺巣1568-2

☎ 0584-32-0512

SUPPORTER特典

購入価格の5%引き

※内容は取材当時のものです。



養老駅を利用される皆さんを
あたたかくお迎えしています♪

Q、SUPPORTERの皆さんに一言お願いします。

養老駅を降りて、春には桜、秋には紅葉を見ながら養老の滝まで歩いてみてください。澄んだ空気のなかで見える濃尾平野の眺望は最高ですよ。お越しになられたら、養老駅や孝子物語、このあたりの歴史のことなどなんでも聞いてください。普段は聞けないような話もたくさんお聞かせします♪